



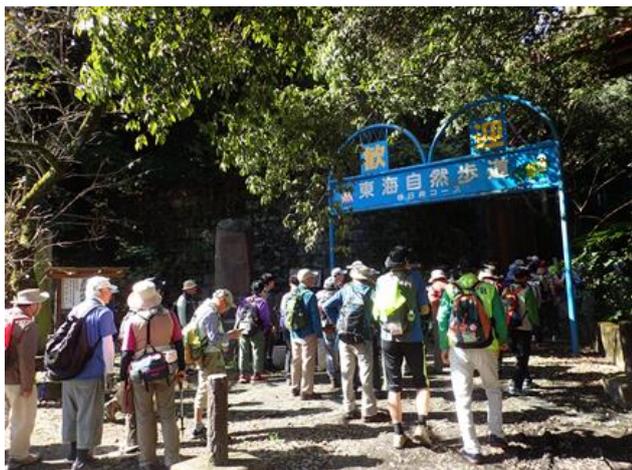
# 環境かわら版

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>

令和元年 10月号 (第281号)

特集

2018年地盤沈下調査結果について ..... P2



「全国・自然歩道を歩こう大会愛知県大会」を開催します (P5)



「生物多様性保全・海外学生派遣プログラム」により、県内の大学生が中国を訪問しました (P6)



もりの学舎秋の特別企画を実施しています (P9)



「第6回三河湾大感謝祭」を開催します (P11)



エコアクションを  
はじめよう！つづけよう！つなげよう！

<http://aichi-eco.com>



愛知県では、1961年から継続的に地盤沈下の状況を観測・調査しています。この度、2018年に実施した水準測量、地下水位観測等の調査結果がまとまりましたのでお知らせします。

## 1 2018年の地盤沈下の状況

地盤の高さを計測し、地盤沈下の状況を調査する水準測量は、県内を尾張・名古屋市、知多、西三河、東三河の4つの地域に分けて行っており、2018年は尾張・名古屋市地域と東三河地域において実施しました。

尾張・名古屋市地域で1年当たり1cm以上沈下した水準点は観測されず、沈下域（隣接する3点以上で1cm/年以上の沈下が見られた地域）もありませんでした。1960年代に地盤沈下の激しかった尾張・名古屋市地域では、1970年代に沈下速度は鈍化し、1985年以降はおおむね沈静化の傾向を示しています（図1）。

また、東三河地域では1年当たり1cm以上沈下した水準点は観測されず、経年的な地盤沈下の傾向も見られませんでした。

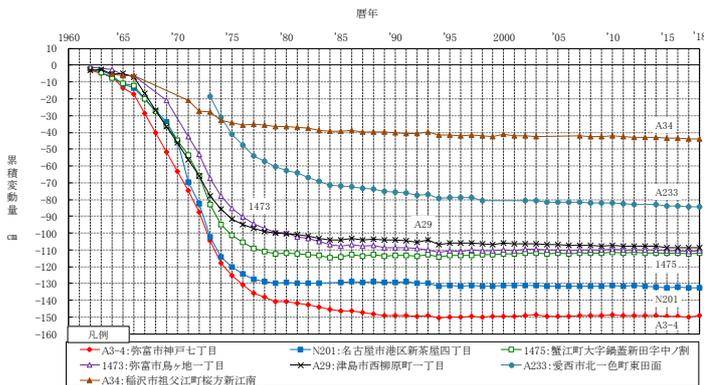


図1 主要な水準点の調査開始からの累積変動状況  
(尾張・名古屋市地域)

## 2 地下水揚水量の状況

地盤沈下の進行と密接な関係がある地下水揚水量については、1975年度には県内で約2,500千 $m^3$ /日ありましたが、尾張地域の揚水規制の効果などにより年々減少し、2004年度以降は1,000千 $m^3$ /日を下回っています（図2）。

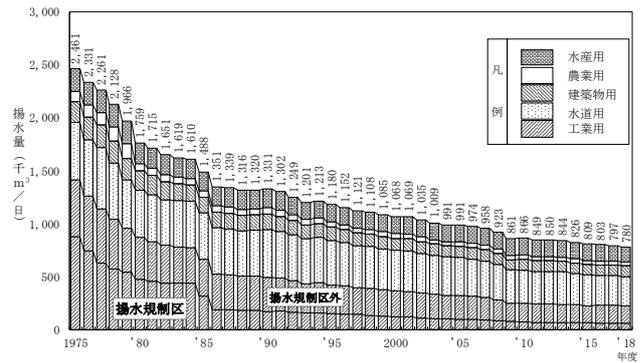


図2 愛知県の地下水揚水量

## 3 まとめ

2018年及び過去の調査結果から、県内の地盤沈下はおおむね沈静化の傾向にあります。しかし、渇水時には、雨水など地下に浸透する水量の減少や揚水量の増加により、地下水位が急激に低下し、広範囲な地盤沈下の発生する可能性が依然としてあります。

一旦沈下した地盤は元には戻らないため、地盤沈下が発生すると、浸水被害等の危険度が高まることから、引き続き地盤沈下調査や地下水位の監視を行うとともに、地下水の揚水規制等を実施し、地盤沈下の防止に努めていきます。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0000035266.html>)

〔 水大気環境課生活環境地盤対策室 地盤沈下対策グループ  
電話 052-954-6224 (ダイヤルイン) 〕

## 「愛知県気候変動適応講演&ワークショップ」の参加者を募集します



近年、気候変動により、熱中症や自然災害リスクの高まり、農作物の品質低下など様々な影響が県内各地で起きており、さらに今後、長期にわたり拡大するおそれがあります。愛知県気候変動適応センター（愛知県環境調査センター内）では、こうした気候変動の影響に対処し、被害を防止・軽減するため、現状を把握し、愛知県における気候変動適応を一層推進することを目的として、「愛知県気候変動適応講演&ワークショップ」を開催します。

- 1 日時 11月13日（水）13：30～16：30
- 2 場所 名古屋都市センターホール  
（名古屋市中区金山町一丁目1番1号  
金山南ビル 11階）

### 3 内容

#### (1) 講演

「気候変動への対応～身近な変化と世界の動き～」  
講師 名古屋大学大学院環境学研究科附属

持続的共発展教育研究センター

特任准教授 <sup>すぎやま のりこ</sup> 杉山 範子 氏

#### (2) ワークショップ

衣・食・住を始めとした暮らし、身の回りの変化について、グループで話し合っただき、発表していただきます。



杉山範子さん

#### 4 参加費・定員

無料、先着順 50名

#### 5 申込先

パブリック・ハーツ(株)

氏名、所属、連絡先（電話、Eメール）を記載の上、Eメール又はFAXでお申し込みください。

Eメール：contact@publichearts.com

FAX:050-3588-2309

（環境調査センター 企画情報部  
電話 052-910-5489（ダイヤルイン））

## 「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」にご登録いただける個人・団体を募集します



愛知県では、県民の皆さんの自発的な地球温暖化対策活動を支援するため、2018年度から「あいち地球温暖化対策人材登録・紹介ネット（温暖化まなびネット）」を開設しています。県内で地球温暖化対策に関する講師や指導者等としてご活動いただける方（個人・団体）を随時募集していますので、是非ご応募ください。

### 1 応募方法

所定の登録申請書にご記入のうえ、Eメール及び郵送の両方で提出してください。

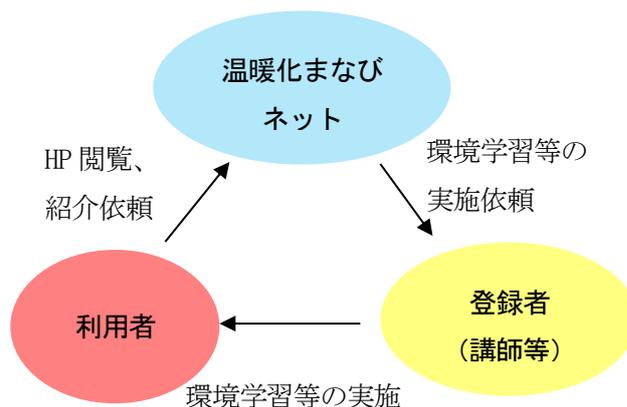
### 2 登録の流れ

ご応募いただいた内容を審査し、地球温暖化防止につながる活動や学習の実施実績がある方又はそれと同等の能力を持つ方について登録します。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/ondanka/onmananet-bosyuu.html>)

### 【温暖化まなびネットとは】



県民の皆さんが自発的な地球温暖化対策活動をする際に、そのニーズに合わせて講師や指導者等を選ぶことができるよう、ご登録いただいた個人や団体の情報を掲載し、紹介しています。

（地球温暖化対策課 調整・企画グループ  
電話 052-954-6213（ダイヤルイン））

## 1 10月の天候の見通し

東海地方の10月の天候について、名古屋地方気象台は、高気圧と低気圧が交互に通過して数日の周期で変わると予測しています。

気温については、南西からの風に乗って暖かい空気が流れ込みやすく、平年より高くなると見込んでいます。

## 2 10月における気候の変動

気象庁のデータを基に、名古屋における10月の過去50年間の気温を調べてみると、10年間あたり約0.5℃のペースで上昇する傾向にありました(図1)。

平均気温と同様に、1日の最高気温が25℃以上となる夏日の日数について調べてみると、10年間あたり約1.2日のペースで増加しており、気候変動の影響が見受けられます(図2)。

## 3 生きものへの影響

夕暮れ時などに散歩をすると、アキアカネ(赤トンボの代表種)を見つけて秋を感じる方も少なくないと思います。

名古屋地方気象台では、気象状況の推移を把握するため、アキアカネの初見日を観測していますので、その観測結果を紹介します。

アキアカネの初見日を10年ごとの平均で表したものが表1になります。1980年代の頃は8月後半、夏休みの終わり頃に飛び始めていましたが、次第に遅くなり2010年代には10月後半から飛び始めるようになっています。

## 4 キクの新品種の開発(適応策)

愛知県は全国第1位のスプレーギクの生産県であり、約5年間かけて新品种「スプレーアイチ秋1号」を開発しました。ピンク色の秋系品種は、開花期が高温になると、花びらの色が淡く白色に近くなる傾向がありますが、この品種は花の色が淡くなりやすく、美しいピンク色の花びらを保つことが特徴です。

県では、キクの他にも水稻の高温耐性品種の導入や、果樹の安定生産技術の開発や普及など、農業分野における気候変動への適応策に取り組んでいます。

## 5 公共交通機関の活用(緩和策)

秋の行楽シーズンを迎え、各地にお出かけする方も多いと思います。

国土交通省によると、交通手段を自家用車からバスに変えると、1人当たりのCO<sub>2</sub>排出量を60%削減し、鉄道に変えた場合は90%も削減できます(図3)。

10月14日は「鉄道の日」に制定されており、この日に合わせて特別切符を発行する鉄道会社もありますので、エコな交通手段をご検討のうえ、お出かけするようにしましょう。

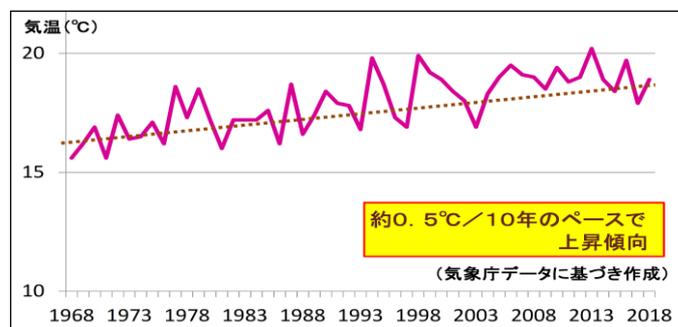


図1 名古屋における10月の平均気温の推移

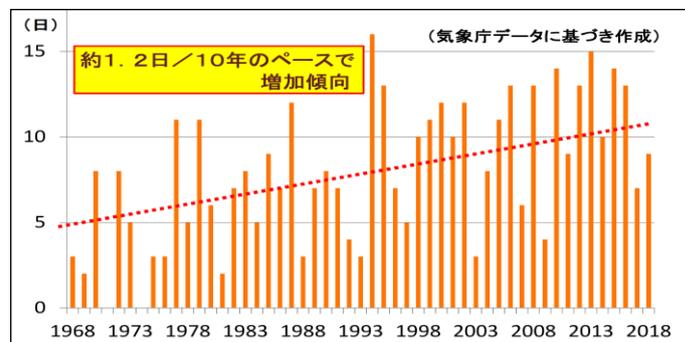


図2 名古屋における10月の夏日日数の推移

表1 名古屋におけるアキアカネ初見日の推移

年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代
初見日	8月23日	10月8日	10月12日	10月19日

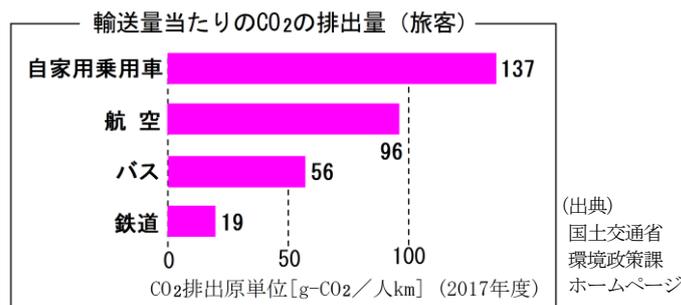


図3 交通機関別単位輸送量当たりのCO<sub>2</sub>炭素排出量

環境調査センター 企画情報部  
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

# 「全国・自然歩道を歩こう大会 愛知県大会」を開催します



## 1 概要

10月は、環境省が主唱する「全国・自然歩道を歩こう月間」です。愛知県ではこの月間に合わせて、愛知県ウォーキング協会と共催で「第38回全国・自然歩道を歩こう大会 愛知県大会」を開催します。今回は、犬山市内の石作公園を出発し、寂光院と国宝・犬山城を経て木曾川沿いの景観を眺めながら歩くコースです。是非ご参加ください。

2 日時：10月20日（日） 9：00 集合、  
9：30 出発、14：50 解散予定

3 集合場所：石作公園（犬山市松本町4丁目、  
名鉄犬山線「犬山駅」から徒歩約10分）

4 コース：犬山市・扶桑町内（東海自然歩道ほか）  
約14km（石作公園～寂光院～犬山国際交流村～犬山城～木曾川犬山緑地～木曾川扶桑緑地～名鉄犬山線「扶桑駅」）※比較的平坦なコースです。

5 参加費：無料

6 参加資格：制限なし（小学生以下の参加については、保護者の方の付き添いをお願いします。）

## 7 その他

- ・昼食・飲み物・雨具・健康保険証をご持参ください。
- ・駐車場はございませんので、必ず公共交通機関でお越しください。
- ・小雨決行。雨天中止については、当日午前7時以降に下記連絡先までお問い合わせください。
- ・コースマップ及び詳細は県のWeb ページをご覧ください。（<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/shizen/arukou-20191020.html>）



昨年度の様子  
（春日井市）

（自然環境課 調整・施設・自然公園グループ）  
電話 052-954-6227（ダイヤルイン）



## 「2020 愛知環境賞」へのエントリーを募集しています



愛知県では、2005年の愛知万博を契機に、資源循環や環境負荷低減に関する優れた取組を「愛知環境賞」として表彰しています。

今年度も、表彰の対象となる取組を募集していますので、是非ご応募ください。

## 1 賞の種類

金賞、銀賞、銅賞、中日新聞社賞、名古屋市長賞、優秀賞

## 2 募集対象者

企業、団体又はグループ（個人の応募は不可）

## 3 募集対象事例

省資源、省エネルギー、新エネルギー、3Rなどの資源循環や環境負荷低減に関する先駆的で効果的な〈技術・事業〉及び〈活動・教育〉

## 4 募集期間

9月2日（月）～10月31日（木）必着

## 5 応募方法

応募用紙に必要事項を記載の上、10部（正本1部、副本9部）を持参又は郵送で提出してください。

なお、全てのデータを格納したCD-R等の電子媒体も併せて1部提出してください（Eメール不可）。

応募用紙はWeb ページからダウンロードできます。

## 6 提出先

〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
愛知県環境局資源循環推進課循環グループ

## 7 選考結果の公表

2020年1月下旬予定

詳細はWeb ページをご覧ください。

（<http://aichikankyoushou.jp/>）

（資源循環推進課 循環グループ）  
電話 052-954-6233（ダイヤルイン）

# 「生物多様性保全・海外学生派遣プログラム」により、 県内の大学生が中国を訪問しました



愛知県と中国江蘇省との間で昨年締結された「環境保全交流協力協定」に基づき、生物多様性の主流化と保全に関する取組を推進するため、「生物多様性保全・海外学生派遣プログラム」を実施しました。

- 1 日程：8月25日～30日の6日間
- 2 派遣学生：愛知県内の大学生5名
- 3 内容

## 【1日目（8月26日）】

江蘇省生態環境庁を訪問し、江蘇省で行われている生物多様性保全に関する政策や取組を聞いた後、愛知県での状況や取組について自身が調べてきた内容を発表し、意見交換を行いました。

その後、南京農業大学を訪問し、中国固有種であり「国の重点保護野生動物リスト」二級保護動物のシナギフチョウに関する調査研究の発表を聴講しました。昆虫標本室では多種多様な昆虫標本を見学し、学生同士で活発な質疑応答や議論が行われました。



昆虫標本室で意見交換する学生

## 【2日目（8月27日）】

南京師範大学の生物多様性及び生物工学研究室を訪問しました。ここでは中国や世界中の希少な動植物の標本博物館を始め、様々な研究室や実験室を見学した後、絶滅の危機に瀕しているヨウスコウカワイルカに関する研究などについて聴講しました。



南京師範大学の学生たちと

## 【3日目（8月28日）】

南京市の北東に位置する塩城市内の二つの自然保護区を視察しました。一つ目は「江蘇省塩城湿地希少鳥国家自然保護区」（2,472 km<sup>2</sup>）です。敷地内にはタンチョウなどの渡り鳥が保護されており、学生達は博物館で湿地の成り立ちやタンチョウの生態について学習した後、飼育下のタンチョウが飛翔する様子や、湿地、野鳥などを観察しました。

二つ目は「江蘇大豊シフゾウ国家級自然保護区」（780 km<sup>2</sup>）です。一度は野生では絶滅したシカ科の動物シフゾウは、飼育下にあった個体を保護繁殖させ、野生復帰させる取組が進められており、学生達は間近



保護区で草を食むシフゾウ

に見るこの希少な動物の美しい姿に驚き、また、人類の努力が絶滅を防いだ重要な事例を学びました。

## 【4日目（8月29日）】

南京市にある紅山森林動物園を視察しました。ここではジャイアントパンダやキンシコウなど4,000種以上の動物が飼育されている他、野生生物救助活動にも重要な役割を果たしています。学生達は展示動物について、調査・学習を行いました。

## 4 成果

本事業は、外務省が定めた「日中青少年交流推進年」の行事として認定されており、その名にふさわしく、四日間の派遣活動中、学生達は江蘇省の学生とよく交流し、色々な体験を通じて、日本とは異なる様々な活動や考え方を学ぶことができました。

今回の学生達の活動結果の詳細については、来年1月に開催される「せいかりレイイベント」において報告がありますので、ぜひお越しください！

〔 自然環境課 国際連携・生態系グループ  
電話 052-954-6229 (ダイヤルイン) 〕

# 食品ロス削減シンポジウムを開催します



まだ食べられるのに捨てられる食品、いわゆる「食品ロス」は、国内で年間 643 万トンが発生しており、これは国連による食糧支援量の約 2 倍にあたります。

今年 5 月には、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が成立、公布され、国民運動として食品ロスの削減の推進を図ることや、食品ロスの削減に関する理解と関心を深めるため、10 月を「食品ロス削減月間」とすることが定められました。

愛知県では、食品ロスについて広く周知し、県民の皆さんに考えていただくため、10 月 26 日（土）に、「食品ロス削減シンポジウム」を、豊橋市の豊橋調理製菓専門学校で開催します。

安城市出身の料理研究家寺田真二郎<sup>てらだしんじろう</sup>さんの講演や、食品ロス問題に詳しい愛知工業大学小林富雄<sup>こばやしとみお</sup>教授と（株）Mizkan Holdings（ミツカンホールディングス）執行役員石垣浩司<sup>いしがきこうじ</sup>さんとの対談、食品ロス削減のための調理実演、調理講習会を行います。

参加は無料ですが、事前申込みが必要です。皆さんお問い合わせの上、是非ご応募ください。

1 日時 10 月 26 日（土） 10:30～14:00

2 場所 豊橋調理製菓専門学校  
（豊橋市八町通 1 丁目 22-2）

3 主催 愛知県

4 主な内容

(1) 講演

「家庭でできる食品ロス削減について」

講師：寺田 真二郎 氏  
（料理研究家）



寺田真二郎さん

(2) 対談

- ・愛知工業大学経営学部教授 小林 富雄 氏
- ・（株）Mizkan Holdings  
執行役員新規事業開発グループリーダー  
石垣 浩司 氏

(3) 食品ロス削減に関する調理実演

実演：寺田 真二郎 氏

(4) 食品ロス削減に関する調理講習会

講師：寺田 真二郎 氏

5 参加条件

県内に在住、在勤、在学の小学 4 年生以上の方  
（18 歳未満の方は保護者同伴でご参加ください）

6 申込方法

必要事項（名前・年齢（参加希望者全員）、代表者住所、電話番号、メールアドレス、「食品ロス削減シンポジウム参加希望」）を明記のうえ、E メールまたは専用はがきにより、10 月 15 日（火）までにお申込みください（申込先着順 70 名）。

お申し込み 1 件につき 3 名まで応募できます。

(1) 申込先

- ・E メール：件名を「食品ロス削減シンポジウム参加希望」とし、必要事項をご記入の上、aichi.foodloss@gmail.com まで送信してください。

- ・はがき：本イベントのチラシ※裏面が専用はがきになっていますので、切り離して必要事項をご記入の上、ポストに投函してください。  
※チラシは市町村、環境学習施設等で備えております。

(2) 「参加証」の送付

E メール又ははがきで「参加証」を送付します。応募者多数によりご参加いただけない場合は、別途、連絡します。

7 その他

食物アレルギー対策は行っておりません。アレルギーをお持ちの方はご自身の責任でご参加ください。

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/junkan/r1foodloss-symposium.html>)

〔 資源循環推進課 一般廃棄物グループ  
電話 052-954-6234（ダイヤルイン） 〕

# 「エコ モビリティ ライフ 県民の集い2019」参加者募集



愛知県では、クルマ（自家用車）と公共交通、自転車、徒歩などをかきこく使い分けるライフスタイル「エコ モビリティ ライフ」（エコモビ）を推進しています。この度、環境にやさしい交通行動「エコモビ」の魅力や取組の紹介、実践の呼びかけを行う「エコ モビリティ ライフ 県民の集い 2019」を開催します。皆さんのご参加をお待ちしております。

- 1 日時 11月6日（水） 13:30～15:30
- 2 場所 愛知芸術文化センター12階  
（地下鉄「栄」駅 徒歩3分、名鉄瀬戸線「栄町」駅 徒歩2分）

### 3 内容

- (1) 2019年度「エコモビ推進表彰」表彰式、受賞団体による取組発表
- (2) 講演 「鉄道で行こう！」  
鉄道写真家 なかい せいや 中井 精也 氏

### 4 参加申込方法

①「県民の集い 参加希望」②代表者氏名③郵便番号・住所④連絡先（電話・FAX・メールアドレス）⑤参加人数⑥イベントを知ったきっかけの6点を明記し、はがき、FAX 又は Web ページにより交通対策課までお申し込みください（10月30日（水）必着）。  
※定員 160名、申込先着順。

宛先: 〒460-8501

（住所記載不要）

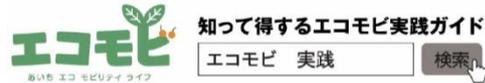
FAX: 052-961-3248

Web ページ:

<https://www.pref.aichi.jp/kotsu/ecomobi/>



中井精也さん



都市整備局交通対策課  
エコモビリティライフ推進グループ  
電話 052-954-6125（ダイヤルイン）

# 愛知県産業廃棄物税検討会議を開催しました



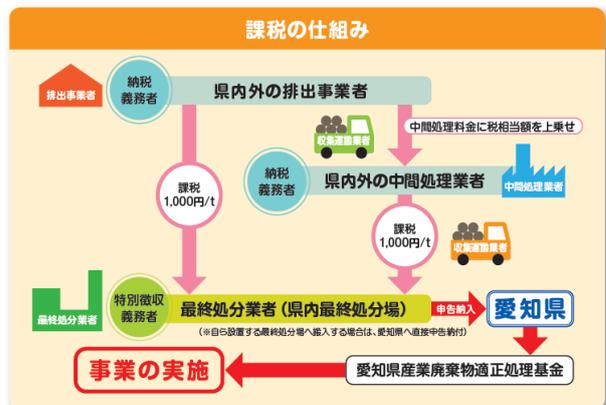
愛知県では、循環型社会の実現に資することを目的として、2006年4月1日に「愛知県産業廃棄物条例」を施行しました。県内の最終処分場に搬入された産業廃棄物の重量1トンにつき1,000円を課税し、産業廃棄物の発生抑制、再使用及び再生利用の促進、産業廃棄物の最終処分場の設置の促進、その他産業廃棄物の適正な処理に関する施策に充当しています。

この条例では、施行後5年を目途に条例の施行状況を勘案し、条例の規定について検討を加え、必要があると認めるときは、その結果に基づいて所要の措置を講ずるとされています。

このため、県では、9月2日に学識経験者、産業廃棄物の排出事業者や処理業者等関係団体で構成する「愛知県産業廃棄物税検討会議」を開催しました。

今後、2021年4月以降の産業廃棄物税のあり方や有効な用途について、検討を重ねていきます。

納める人 (納税義務者)	納める額 (課税標準及び税率)	納める方法 (徴収方法)
愛知県内の最終処分場に産業廃棄物を搬入する排出事業者又は中間処理業者	最終処分場に搬入された産業廃棄物の重量1トンにつき1,000円 (自らの産業廃棄物を自ら設置する最終処分場へ搬入する場合は、1トンにつき500円)	最終処分業者が排出事業者又は中間処理業者から税を預かり、愛知県へ申告納入 (自ら設置する最終処分場へ搬入する場合は、愛知県へ直接申告納入)



資源循環推進課 産業廃棄物グループ  
電話 052-954-6235（ダイヤルイン）



愛・地球博記念公園（モリコロパーク）内のもりの学舎では、（公財）愛知臨海環境整備センター（略称：アセック）の協賛により、10月1日（火）から10月31日（木）まで、秋の特別企画を実施しています。

モリコロパーク内をめぐるクイズラリー「森のナゾときウォーク」や、身近な自然素材を使った工作「木の実のフォトフレーム」など、様々な企画をご用意しております。参加費はいずれも無料です。

暑さが和らぎ、過ごしやすい季節です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

### 1 森のナゾときウォーク

#### (1) 開催日

10月1日（火）～10月31日（木）

ただし、もりの学舎の休館日（月曜日、月曜日が祝祭日の場合は翌日）は除く。

#### (2) 開催時間

9:00～16:30

#### (3) 参加方法

もりの学舎、総合案内所、西口休憩所などに設置された解答用紙（地図）を手に入れ、地図に書かれた「ナゾときボックス」をめぐるります。ゴールのもりの学舎で、インタープリターと答え合わせをしてください。



ナゾときボックス



ナゾときの様子

#### (4) 参加特典

参加者にはもりの学舎オリジナルエコバッグや、アセックオリジナルグッズをプレゼントします。



オリジナルエコバッグ

### 2 その他特別企画

工作教室や自然遊び体験等のプログラムを実施します。

#### (1) 実施日

10月12日（土）、13日（日）、19日（土）、20日（日）

#### (2) 実施プログラム

プログラム	概要	時間	対象
光の小箱	光をテーマにした工作	11:30～ 12:00	小学生以上
木の実のフォトフレーム	自然素材を使った工作	13:00～ 13:30	3歳以上※
かぜくじら	風をテーマにした工作	14:30～ 15:00	3歳以上※
ひみつのつながり	いきものなどを題材にした自然遊び体験	10:15～ 15:15 の間に随時	どなたでも
かみしばいよみきかせ	環境や自然をテーマにした紙芝居の読み聞かせ	10:15～ 15:15 の間に随時	どなたでも

※未就学児は必ず保護者同伴

参加方法、定員等の詳細はWebページをご覧ください。



木の実のフォトフレーム



広場にかみしばい

### 3 その他

他にも楽しいプログラムをたくさん行っています。詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki>

/kankyokatsudo/rlautumn.html)

〔環境活動推進課 環境学習グループ  
電話 052-954-6208 (ダイヤルイン)〕

# 10月はクリーン排水推進月間及び浄化槽強調月間です



愛知県では、生活排水対策に関する基本方針に基づき、10月を「クリーン排水推進月間」及び「浄化槽強調月間」と定め、市町村や浄化槽指定検査機関等と連携し、川や海などの汚れの主な原因である生活排水への関心を高めるとともに、浄化槽の適正な維持管理の重要性等について周知しています。

## 1 実践しよう！生活排水対策

浄化槽や下水道などでは、微生物の働きによって生活排水の汚れを分解し、きれいな水に処理しています。ただし、その能力には限りがあります。汚れた生活排水を流しすぎないように心がけることが大切です。

私たちの身近には、簡単にできる生活排水対策がたくさんあります。皆さんも、できることから少しずつ始めてみましょう。



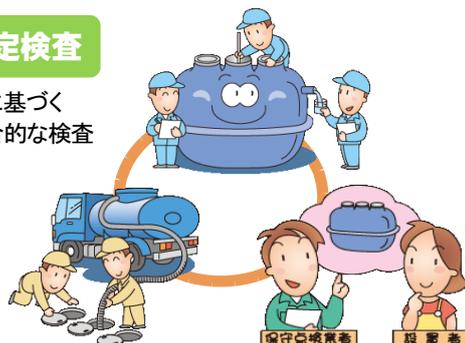
## 2 浄化槽の適正な維持管理が大切！

法令により、浄化槽管理者（一般住宅の場合、世帯主）は、適正な維持管理を行うことが義務付けられています。浄化槽を十分に機能させるためには、

①法定検査（水質検査等）、②保守点検、③清掃の3つを全て行う必要があります。

### 法定検査

法に基づく  
総合的な検査



### 清掃

汚泥等の  
引き抜き・洗浄

### 保守点検

機器の点検・  
調整・修理

### 浄化槽の適正な維持管理

浄化槽の適正な維持管理の詳細については、県のWebページ (<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0000053773.html>) 若しくは、お住まいの市町村や最寄りの県民事務所等の環境保全担当課などにお問い合わせください。

## 3 月間中のキャンペーン

〈街頭啓発〉浄化槽指定検査機関及び地元市と連携し、浄化槽の維持管理や身近な生活排水対策への関心を高めるため、啓発資材の配布などを行います。

日	時間	場所
10月 8日(火)	10:00~12:00	名鉄豊田市駅
10月 15日(火)	10:00~12:00	フィール春日井店
10月 21日(月)	10:00~12:00	アビタ稲沢店
10月 23日(水)	10:00~12:00	アビタ江南西店
10月 24日(木)	9:00~10:00	名鉄豊川稲荷駅・JR豊川駅
	18:00~19:00	名鉄本宿駅

〈イベント〉愛知県合併処理浄化槽普及促進協議会の主催で浄化槽に係る知識・技術の向上を図るため、「令和元年度浄化槽フォーラム」が開催されます。このフォーラムでは、浄化槽カットモデルの展示や講演会・研修会が行われます。

(1) 日時 10月17日(木) 10:00~16:00

(2) 場所 愛知教育大学 講堂

詳細は、愛知県合併処理浄化槽普及促進協議会 (0564-23-6871) にお問い合わせください。

水大気環境課生活環境地盤対策室  
三河湾環境再生グループ  
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)  
生活環境グループ  
電話 052-954-6219 (ダイヤルイン)

## 「第6回三河湾大感謝祭」を開催します

12 三河湾再生  
つくり直す



14 海の豊かさを  
つくり直す



17 パートナースHIPで  
目標を達成しよう



愛知県では、多くの県民の皆さんに三河湾に関心を持っていただくとともに、「海の豊かさを守ろう」を始めとする持続可能な開発目標（SDGs）の理念を発信するため、10月20日（日）に、碧南市の大浜漁港において、「第6回三河湾大感謝祭」を開催します。

アウトドア派タレント<sup>てつざきみきひと</sup>鉄崎幹人さんによる三河湾の環境に関するトークショー、アイドルグループ「名古屋 CLEAR'S」によるミニライブ及び来場者との会場清掃、アサリ詰め放題やマイエコバッグづくり、本物そっくりロボットを使った海洋楽教室、「へきなん焼きそば」の無料試食会など、楽しみながら海の豊かさについて考えていただける企画をたくさん用意しています。参加は無料です。

また、当日は大浜漁港周辺で「大浜てらまちウォーキング」や「名鉄のハイキング」が開催されます。皆さんの参加をお待ちしていますので、是非、お越しください。

### 1 日時

10月20日（日） 9:00～15:00

### 2 場所

大浜漁港（碧南市築山町1-70）

### 3 主催・共催

主催：愛知県

共催：碧南市

三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ

### 4 参加費

無料

### 5 内容

#### (1) ステージ

- ・セレモニー
- ・アウトドア派タレント鉄崎幹人さんによる三河湾環境トークショー（11時45分頃）



鉄崎幹人さん

- ・アイドルグループ「名古屋 CLEAR'S」によるミニライブ（11時頃、14時30分頃）

※ミニライブ後に来場者との会場清掃及び集合写真撮影



- ・徳川家康と服部半蔵忍者隊のパフォーマンス



- ・地元キッズダンスチーム（komaki crew、LIKES）のステージ 等

#### (2) 広場等

- ・アサリ詰め放題（200名限りで、当日、整理券を配布。中学生以下の方が対象）
- ・マイエコバッグづくり（先着250名）
- ・体験型ブースやクイズラリー
- ・海の生きものの展示
- ・本物そっくりロボットを使った海洋楽教室
- ・へきなん焼きそばの無料試食会（500名限りで、当日、整理券を配布）
- ・三河湾の海の幸の販売（有料）
- ・三河湾の写真展 等

※いずれの内容も事前申込みは不要です。

### 6 その他

天候の状況、出演者の都合等により、内容を変更又は中止する場合があります。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/2019mikawawan-kansyasai.html>)

〔水大気環境課生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ  
電話 052-954-6220（ダイヤルイン）〕

# 「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」のシンボルマークとサポーターズカードを作成しました



## 1 シンボルマーク

愛知県は、2015年に、県民、NPO、企業・関係団体、教育機関等が連携・協働し、県民の皆さんに三河湾に関心を持っていただき、県民の里海である三河湾を再生し次の世代に贈ることを目的とする「三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ」(以下「クラブ」という。)を設立しました。

このクラブは、目的に沿った活動をする団体の会員(9月末現在28団体)と、目的に賛同し応援する

個人のサポーター(9月末現在約1,600名)で構成しています。

この度、会員とサポーターの一体感を醸成するため、クラブのシンボルマークを作成しました。



クラブシンボルマーク

### デザインのコンセプト

- ・会員とサポーターが一体となって豊かな三河湾を守っていく姿を、三河湾の代表的な海産物であるアサリを守るデザインで表現しました。
- ・クラブの活動目的に直結するSDGsの目標14と17のアイコンの色を用い、クラブの活動がSDGsに貢献することを示しました。

今後、三河湾の環境再生に向けた連携・協働の輪を広げていくため、シンボルマークを活用したクラブのPRを進めていきます。

## 2 サポーターズカード

サポーターの三河湾関連イベントへの参加を促進するとともに、サポーターのさらなる増加につなげるため、新たに、集めることが楽しくなるコレクションカードとして、サポーターズカードを作成しました。

カードの題材は、三河湾の豊かさを守る上で重要な干潟等に生息する貝(アサリ等の10種)です。カードにはそれぞれの貝についての豆知識を掲載し、10種類のカードをそろえると分かる仕掛けもあります。

カードは、10月20日(日)の三河湾大感謝祭を皮切りに、環境局主催のイベントや会員主催のイベント等で配布する予定です。是非たくさんのイベントに参加し、カードを集めてください。

愛知県では、サポーターを募集中です。皆さんも是非サポーターとなって、一緒に里海である三河湾を再生しましょう。

詳細はWebページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/>

[mizutaiki/0000084968.html](https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/0000084968.html))



サポーターズカード(アサリ)

〔水大気環境課生活環境地盤対策室 三河湾環境再生グループ〕  
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)〕

愛知県環境情報紙「環境かわら版」  
令和元年10月7日発行(第281号)  
編集・発行 愛知県環境調査センター  
企画情報部  
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6  
電話 052-910-5489(ダイヤルイン)

### 編集後記

9月は過ごしやすい日もありましたが、昼間の気温は30度を超える日が多く、残暑が厳しい状況でした。体育祭の最中に、高校生が熱中症と思われる症状で手当を受けたというニュースもありました。10月からは、朝晩と昼間の気温差が大きくなり、体調を崩しやすくなってきます。服装などを工夫して、うまく気候と付き合っていきたいですね。

(企画・編集チーム)

※ この環境かわら版は、環境局Webページ「あいちの環境」<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>でも発信しており、写真等をカラーでご覧いただけます。この記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。